

条例改正・補正予算など 47議案を審議

市議会2月定例会が、2月18日(金)から3月25日(金)までの36日間の日程で行われました。条例改正や補正予算など47案件が審議されました。主な議案を紹介します。



一般会計補正予算(第13回～第18回)

既定の予算総額に9億4,400万円を追加し、歳入歳出予算額をそれぞれ226億7,700万円としました。

●子育て世帯等臨時特別支援事業(4億300万円)

対象となる子育て世帯へ、臨時特別給付金を支給するため増額しました。

●住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業(2億7,250万円)

住民税非課税世帯や新型コロナウイルスの影響で家計が急変した世帯に、臨時特別給付金を支給するため増額しました。

●医療機関感染防護対策事業(2,320万円)

国の交付金を活用し、医療機関での新型コロナウイルス感染防護対策のため、裾野赤十字病院が行う医療機器の整備費の補助金、市内の医療機関に、医師会と歯科医師会を通じて交付する交付金を増額しました。

●保育士・幼稚園教諭等の処遇改善(519万円)

保育士や幼稚園教諭の処遇改善のため、私立園に交付する保育士等処遇改善臨時特例交付金、放課後児童室の委託料を増額しました。

●学校保健特別対策事業(1,679万円)

小中学校での新型コロナウイルス感染症対策のため、備品などの購入費用、学校教育活動の円滑な運営のための費用を増額しました。

●ふるさと納税事業(3,000万円)

ふるさと納税による寄付額の増額に伴い、返礼品の発送費用などを増額しました。

議案



●特別職の職員の給与に関する条例を制定することについて

財政再建の取り組みの一つとして、令和4年度の市長の期末手当について、給料年額の3割に相当する額を減額するため、条例を制定しました。

●市部設置条例の一部を改正することについて

重要施策の推進と、社会情勢の変化に的確に対応できる戦略的で効率的・効果的な組織とするため、条例の一部を改正しました。

●市職員の給与に関する条例の一部を改正することについて

行財政構造改革第2期計画に基づき、市職員の通勤手当を見直し、支給総額の削減と適正化を図るため、条例の一部を改正しました。

副市長 及川 涼介 氏



市議会2月定例会で同意され、4月1日に及川涼介氏が副市長に就任しました。任期は、令和8年3月31日までです。

